

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 29 日(2022.3.29)

【公開番号】特開 2020-153508(P2020-153508A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-55406(P2019-55406)

【国際特許分類】

F 1 6 K 15/00(2006.01)

F 1 6 K 15/03(2006.01)

【F I】

F 1 6 K 15/00

F 1 6 K 15/03 F

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被取付部に取り付けられて使用される逆流防止装置であって、
前記被取付部に取り付けられ、弁座部を有する装置本体と、
この装置本体に設けられ、前記弁座部に対して接離する弁体とを備え、
通常使用時には前記弁体と前記弁座部との間に隙間が存在し、逆流時には前記隙間がなくなる

ことを特徴とする逆流防止装置。

30

【請求項 2】

隙間は、上流側からの気体が流通可能な僅かな隙間である

ことを特徴とする請求項 1 記載の逆流防止装置。

【請求項 3】

隙間は、弁体が上流側からの排水に押されることにより拡大する

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の逆流防止装置。

【請求項 4】

装置本体は、弾性体を介して被取付部に取り付けられた状態時に、前記装置本体の姿勢を維持する姿勢維持用凸部を有する

ことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか一記載の逆流防止装置。

40

【請求項 5】

弁体は、装置本体側とは反対側に向かって開口する把持用凹部を有し、

前記装置本体は、この装置本体の両側に形成された把持用平面部を有する

ことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか一記載の逆流防止装置。